

2025年4月19日(土) 11:00~20:00

入場無料

MOTOSUMIYOSHI MUSIC FESTIVAL 第4回

元住吉ミュージックフェスティバル

in 川崎市 国際交流センターホール

最寄駅：東急東横線・東急目黒線
「元住吉駅」西口徒歩10分
Add：川崎市中原区木月祇園町 2-2
TEL：044-435-7000

たくさんのアーティストが集いジャズ、クラシック、ロック、ポップスなどの楽曲が楽器本来の生音で一日中聴けて楽しめる手作り音楽祭です。

元住吉最大の音楽祭

主催 音楽好きな友の会 / MMF実行委員会
共催 Motton Club
後援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会 / (公財)川崎市国際交流協会 / (公財)かわさき市民活動センター / (公財)現代人形劇センター / かわさきFM(79.1MHz) / 人形劇団ひとみ座
協力 モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合 / モトスミ・オズ通り商店街振興組合 / 井田中ノ町商栄会 / 木月一丁目町会 / 木月二丁目町会 / 木月三丁目町会 / 木月四丁目共和会 / 井田共和会第2町会 / 井田共和会第3町会 / 井田共和会第4町会 / ウチダインテリアデザイン / 島倉 学ミュージックスクール / ソウリーヴ・ミュージック・スクール

お問合せ：mmf.info@ontomo.jp



音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/

後援
●川崎市中原区
●「音楽のまち・かわさき」推進協議会
●公益財団法人 川崎市国際交流協会



羽宮英果(はとうひでか)：ピアニスト

神奈川県生まれの東京郊外育ち。幼少期よりピアノに触れ、中高では合唱部に所属する。大学の新生歓迎会でビッグバンドジャズに出会ってから今に至るまで演奏を続けている。イベントでの演奏、国内外の演奏旅行、レコーディングの経験はビッグバンドを続けていたからこそ。2016年に神奈川に移ってからは、ロック・ポップスバンドのメンバーになり、キーボードを始める等、新たな挑戦を続けている。第3回元住吉ミュージック・フェスティバルには「あいそるバンド」で出演。好きな言葉は、継続は力なり。



2025年1月はお休みです。

音友レコード倶楽部
レコードコンサートのプログラムは「Light music/軽音楽の集い」&「Jazz Date/ジャズの集い」の2種類です。レコードの魅力を最大限に引き出すべく、音友レコード倶楽部が中心となって開催中。



A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music

Mマガジン

2025年1月16日号
2024年12月16日発行
(毎月16日発行)
第119号

発行・編集人：塚田親一
編集：藤田順治 / 大塚明弘 佐伯奈々重

発行：音楽好きな友の会
川崎市中原区木月2-21-32
TEL 090-9398-2889
2024-12-16-800 Printing IT

連載09 島倉 学があなたに贈るミュージカルの世界へ

芸術文化は娯楽ではなく生命の根源である

Shimamura Manabu

クロスオーバー歌手 島倉 学

芸術文化において、「音楽の力」「演劇の力」は無敵なのか。いいえ、無敵なのはアーティスト自身の弱精神です。真のアーティストは、音楽や演劇を通して己の全てを捧げることが使命です。無力だと思者が、音楽や演劇をやる資格はない。それを決して忘れてはなりません。

人間が生きていく上で、絶対に欠かせないものは「衣食住」ですが、芸術文化はそれを超越するのです。例えばどんな時かと申しますと、人間が「生きる意味」を失った時です。人は自分の寿命を知らされると、目の前にどれだけ大金があろうと「衣食住」は何の生きる支えにもなりません。しかし、「音楽の力」「演劇の力」とはその失った心に栄養を与える存在なのです。つまり、生きる希望と勇気になることがその人の生きる活力となる。

これから時代の進歩と共に、芸術文化は益々衰退していきます。なぜなら、現代は人間がインターネット(オンライン)を利用するのではなく、インターネット(オンライン)に心を支配されている世の中だからです。行き着く先は、「人間の潜在能力がAI(人工知能)に支配される」そんな恐ろしい世の中になるでしょう。というか、もう既にそれが始まっていますが...だからこそ、生で感動を味わえる芸術が貴重であり必要とされ

る時代になると皆さんは思われるでしょう?残念ながら、古き良き時代の手法を遺していかない限り、そうはなりません。そして何よりも大切なことは、質が良く高い技術を持ったアーティストを育てていかなければ、芸術の本質は後世に遺っていかないのです。そのためには、まず教育者や指導者がしっかりとした教養と見識(本質を見極める力)を養う能力を身に付けることです。そして、アーティストはくだらない地位や名誉を遺していくのではなく、「心の財産」になるものを選び取らなければならぬのです。

そこで、今回ご紹介する作品は『モーツァルト!』です。この作品は、オーストリア出身でクラシック作曲家ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトの生涯を描いたウィーン発のミュージカルです。『エリザベト』を手掛けた脚本・作詞家ミヒャエル・クンツェ氏と作曲・編曲家シルヴェスター・リーヴァイ氏が共同で製作し、1999年にアン・デア・ウィーン劇場で初演されました。その後、2015年から2016年にかけて、新演劇の再演がウィーンで行われました。2002年、日本でも初演されてから現在も尚上演し続けている最高傑作です。(つづく)

国立音楽大学声楽科卒。劇団四季出身。クロスオーバー歌手。近年は、クラシック・コンサートのソリストやミュージカルのメインキャストで出演。現在活躍中のプロ歌手をはじめ、有名ミュージカル俳優、ジュニアなど多数歌唱指導。ヴォイス・トレーナー歴22年を誇る。現・島倉 学ミュージックスクール代表講師。元・広瀬香美音楽学校客員講師。元・劇団スーパー・エキセントリックシアター「アクターズコース」歌唱講師。

▲モーツァルト! (ウィーン新演劇)

島倉 学ミュージックスクール
プロ志望専門ヴォイス・トレーニング

30分無料体験レッスン実施中!

【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分
島倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月35-1 ART FLATS B1F(106坪)

【お問い合わせ】
島倉音楽事務所
代表 島倉 学

営業日：火曜～土曜 12:00～21:00
定休日：日曜・月曜

TEL 044-567-5940 Mail: info@ms-musicschool.com
HP: https://www.ms-musicschool.com/

川崎市国際交流センター

外国につながる子どものための
小学校入学説明会

しょうがっこう にゅうがく せつめいかい
しょうがっこうにゅうがく せつめいかい
小学校入学のための説明会です。
けいけんゆた ほごしゃ けいけんだん
経験豊かな 保護者の 経験談、
あどばいす そうだん
アドバイスも あります。 相談も できます。

いつ：1月25日(土)13:30-16:00
どこで：川崎市国際交流センター ホール
だれ：外国につながる子ども、その保護者

web site

つうやく ほうく 保育も あります。 もりよう
通訳や 無料です
もう こ
申し込んで ください。

TEL : 044-435-7000
E-mail : soudan39@kian.or.jp

●お問い合わせ
公益財団法人川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000
E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp
ホームページ https://www.kian.or.jp/

川崎市生涯学習プラザ

第144回ランチタイム・ロビーコンサート

出演：TEAM-4.5(チーム ヨンテンゴ) / 津軽三味線

私たちは津軽三味線小山流の総師範と師範からなるTEAMです。東京神奈川の音楽祭や文化祭をはじめ各種イベント、依頼を受けた演奏からボランティア演奏まで多岐に渡る活動を行なっています。

●曲目予定
1.二上りメドレー 3.さんさ時雨 5.民謡メドレー
2.さくらさくら 4.ソーラン変奏曲 6.新節 唄節 七段

●日時：2025年1月16日(木曜日)
12:00開場/12:10開演/12:40終演予定

●料金：無料

●場所：川崎市生涯学習プラザ1階ロビー

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団 総務室 総務係 ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5560 E-mail: concert@kpal.or.jp
川崎市中原区今井南町28-41
ホームページ https://kpal.or.jp/

音楽好きな友の会(音友会)

2025年
新年あけましておめでとうございます。

音楽好きな友の会(音友会)が音楽を通して地域活性化音楽活動を始めて早いもので今年で11年目となります。音友会の「レコードコンサート、元住吉ミュージック・フェスティバル」にご参加の皆さん、また地域の皆さんのご協力有難うございました。今年も一期一会の楽しい時間を創り楽しみたいと思います。スタッフ一同お待ちしておりますので今後とも宜しくお願いいたします。

昨年に引き続き今年の4月19日(土)には『第4回元住吉ミュージック・フェスティバル(MMF-2025)』が国際交流センターのホールで特色有る「楽器本来の生音で聴く手作り音楽祭」として開催準備が進行しています。出場者の素晴らしい演奏を地元を始め近郊の皆様と一緒に楽しめる様にジャンルを問わない出演プログラム構成で開催するように努力しています。今年も音友会の活動に対する皆様のご協力、ご支援の程よろしくお願い致します。

音友会一同

伝説のレコードショップ「メロディーハウス」
Fujita Junji
音友レコード倶楽部：藤田 順治

年末年始になると今でも思い出すのが昭和53年から54年頃、明治神宮の初詣前に立ち寄った原宿竹下通りのレコードショップ「メロディーハウス」。当時、珍しかった輸入盤専門店がバイヤーの方が外国から取り寄せ、草分け的な存在であった。また、年末になるとバーゲンセールを行うのでそれが楽しみで日頃から店に通っていた筆者もどんなレコードが初売りに出ているかわくわくドキドキ感覚があったのを憶えている。

この時も店に立ち寄りニコレット・ローソン、リタ・クーリッジ、リッキー・リー・ジョーンズなど女性シンガーのアルバムを買ったのだが昭和57年に惜しくも原宿の伝説の店は閉店。しかし現在、大阪心斎橋でハワイアンやAORを中心に扱うCDショップ「ザ・メロディー」として残っている事をつい最近知り、少し安堵した次第である。

機会があれば是非立ち寄ってみたいと思っている

♪ 2025年1月末定のお知らせ!! ♪
第193回音友レコード倶楽部は会場都合で未定です。
※詳しくは「音友会」のホームページでお知らせします。

https://ontomo.jp

音友レコード倶楽部PR動画!

「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

常連の参加者との共同製作です。
撮影・編集はギター奏者の永瀬晋が担当。
新規参加の前に、ぜひご覧ください。
YouTube配信中。

https://ontomo.jp

連載05

オカリナに誘われて
マイナスがプラスに

Kotanagi Emiko

小棚木 恵美子



「思い通りに演奏できる!オカリナ上達のポイント50」監修出版。神奈川県・東京を中心に演奏活動しています。第二(四)(水)、(金)には、武蔵中原駅近くのコーヒースポットにて、オカリナ体験できるレッスンや、オカリナのお悩み相談を受けるレッスンやイベントを開催中♪2025年1/8(水)、10(金)はオカリナ吹奏会 吹き初め&花ライブイベントを開催します。オカリナ持ってご参加ください。ご予約受付中です。

Instagramも是非のぞいてください
https://www.instagram.com/emikokotanagi/

Instagram @emikokotanagi



今年も素敵な一年になりますように心よりお祈り申し上げます。私は年を越すと色々なものがリセットされるような感覚があります。楽器もそうで、良いのか悪いのかよくわかりませんが、不思議と毎年感じています。今回のコラムはリセットではありませんが、マイナスがプラスに転換できたという、私の嬉しかった体験です。私はオカリナを始める前はクラリネットが好きで、いつもクラリネットの事を考えている生活でした。ですがオカリナに出会ってこの楽器も大好きになって、オカリナを教える仕事を始めたいと思いました。しかしこの二つの楽器は全く違う吹き心地で、オカリナを吹いているのがわかってもらえず、オカリナを教える仕事を始めてみました。愕然としました。クラリネットは辞めきれずに細々と続けていました。この悩みがわかってもらえる人が周りに居なくて、ずっと私だけなんてだろうと思ひ悩まばかりでした。10年以上たって、ようやく私の悩みを共感してくださる人に出会えました。そ

の人はトランペットとオカリナの演奏活動されている方で、わかってもらえる人に出会えただけで心がスッと軽くなって、クラリネットを演奏したいという気持ちもどンドン膨らみました。以前はクラリネットは吹くのは好きだけど、人前で演奏したいとは思わなかったのですが、オカリナを始めた時に、まずは楽器を知ってもらわないといけないと思い、オカリナを演奏する活動を初めて、10年かかりましたが演奏とおしゃべりとお客様に楽しんで頂く事が大好きになりました。運よく素敵なピアノ奏者の五十川慶子さんとhanaというユニット名で一緒に活動することが出来たから心強く挑めたのだと思います。現在はマイナスに思っていたクラリネットの音が揺れてしまうという悩みを、音がゆれてOKな憧れのジャズの演奏に生かそうと思ひ演奏活動を楽しんでいます。木のあたたかな響きと、焼き物のほんわかした響きの両方味わっていただけの活動を「花」という名前前で一人で活動しています。クラリネット諦めなくて良かった。マイナスを大きなプラスに転換できました。

特別寄稿 Conversations 音友レコード倶楽部・音楽談議

懐かしの神保町ジャズ喫茶「響」と思い出のレコード

Shiranita Kazuhiro

DJ担当:白仁田 一浩

筆者がジャズを聴き始めた1980年代、都内には全国的に有名なジャズ喫茶がいくつもあり、神保町の「響」もその中のひとつであった。当時通っていた大学がお茶の水界隈にあり、目と鼻の先にある「響」という存在と外観だけは知っていたが、特に入ってみようとは思わなかった。やがて社会人となり、好きなジャズメンが増え、演奏スタイルの好みも固まってきた20代半ば。ふと「ジャズ喫茶に行ってみようか」という気持ちが湧き始め、真っ先に思い浮かんだのが「響」である。当時ジャズ喫茶といえば年輩の常連客や玄人のジャズマニアたちが煙草をふかしながら難しい顔でコルトレーンやマイルスに聴き入り、カウンターの前こうには強面のマスターがじっと座っているというイメージが強く、20代の若造が一人で入って来たとなんか店内中からジロリと見られるのではないかと怖くてなかなか入れなかった。現代のようにインターネットやSNSなどが当たり前の世の中であれば事前のリサーチも出来たが、音楽関係の情報といえば音楽雑誌や本、テレビ、ラジオ等から受け身で得ていた時代である。本当に自分が入っても大丈夫な場所なのかか分からない。とりあえず店の前まで行ってみたい。ブラインドが半開きの窓際にJBLのロゴがオレンジ色に柔らかく灯るスタンダードが見えるが、入口の重そうなるスモークガラス扉からは店内の様子がうっすらとしか見えない。入る勇気が無くともあらず一度店の前を離れてその辺りを一周し、「今度こそは入ろう」と思って再び店の前に戻ってくるものの、やはり入れずに横目でガラス扉を見ながら通り過ぎる、という怪しげな行動を幾度繰り返したことが。もしかしらマスターは店内からこの行動に気づいており、私の心の内を見透かしていたかもしれない...などと考えると尚更入り難くなってしまった。そして何回目かのチャレンジ(?)で意を決して重いガラス扉を開け、大音量のジャズが充満する店内へ。何人かの

客がちらっとこちらを見たのが分かり少々身構えたが、マスターからの「いらっしゃい」の優しい一声で緊張が緩み、空いていた壁際の席に腰を下ろす。にこやかなアルバイトの女性が「いらっしゃいませ」と水を運んで来たところでホットコーヒーを注文。いったん座ってしまえば、あつけないほど何でもなかった。コーヒーを待ちながらあらためて店内を見回してみれば、一人カウンターで読書する客、友人同士で談笑するグループ、目の前にハーボンのボトルを置き煙草を片手に目を閉じて聴き入る明らかな常連と思われる客...など実に様々な、気が付けば自分もその中の一人として既に溶け込んでいた。運ばれてきたコーヒーに口をつける頃には緊張は完全に解け、流れるジャズをじっくりと味わう余裕さえ生まれた。横長の巨大なJBL4350(写真①)が所狭しと居座り、そこから浴びせられる「ジャズの音」の良さと圧倒的迫力が私を完全に病みつきにさせ、この日から「響通い」が始まったのであった。時代はバブル期の終盤で毎日のように残業が続いていたが、職場からそれほど遠くなかったため会社帰りに頻りに立ち寄り、閉店近くまで戻って帰宅可能な最終の電車で帰ったものである。注文はだいたい決まっておらず、まずビールの小瓶を1本(キリンラガーで柿ピーが付いていた)、次にハーバーのダブルロック1杯をちびちび飲み、最後にホットコーヒーで締めた。酒が好きなせいで酒に弱い筆者にとってはこれがベストであった。混んでいる時には相席が当たり前で、誰も嫌な顔ひとつせず快く座らせてくれたのも嬉しかった。「響通い」がすっかり定着した頃、初めてリクエストしてみようと思ひ立った。名盤では恥ずかしく、間違っても「クルール・ストラッティン」や「サムシン・エルス」などは選べない。かといって皆が驚く様な「知る人ぞ知る」隠れ盤も知らない。何か適度に中庸なアルバムは...と思ひながらレコードリストの中に見つけたのが、自分も持っているショーティー・ロジャース&ヒズ・ジャ

イズツの「Re-Entry」(写真②)だった。バド・シャンクやシェリー・マンらの9人編成によるからりと乾いた良質のウエストコースト・サウンドが聴ける1983年の来日記念盤である。しばらく待ち、初のリクエスト盤が店内に流れた時の感動は今でも忘れられない。当たり前だが自宅で聴く音とは雲泥の差で、その日は嬉しくてちょっと飲みすぎたのであった。後日、今度はお気に入りの1954年デューク・ジョーダン初リーダーアルバム「Jordu」(写真③)をリクエストした。タイトル曲「ジョードゥ」が流れるとすぐに客の一人が立ち上がり、ジャケットを手に取って見ながら何やらマスターに話かけ、マスターが答えながら一瞬ちらりと私の方に目を向けた。何だか自分の趣味がジャズをじっくりと味わうのが高揚した。数ヶ月ほど通ううちに、時々いよゆる名盤もかかることに気づき、たまには名盤も良いのでは?とリストも見ずに軽い気持ちでリクエストしてみたのがカーティス・フルーの「Blues-ette」(写真④)。おなじみの「ファイブ・スポット・アフター・ダーク」が流れると、意外なことにまた客の一人がジャケットを見に立ち上がった。超有名盤を知らない客も来ている。ジャズの達人みたいな客ばかりではないのだ...そんな一面も知り、「響」への親しみが一層増した瞬間である。3年間通い詰めた「響」で筆者が初めて知ったミュージシャンやアルバムはもちろん数知れず、ダイアナ・クラールを知るきっかけとなった「Stepping Out」(写真⑤)もその中の1枚で、30年以上経った今でも愛聴盤である。1993年、マスターの大木俊之介さんから突然「響閉店」のお知らせが届いた時は驚くと共に残念で仕方がなかった。その後しばらくして神奈川の鶴沼海岸で「響庵」を開いたと聞くと、機会が無く結局行かず仕舞いとなる。神保町は今でもよく足を運ぶが、かつて「響」があった一角はいつ行ってもあの頃の懐かし思い思い出や光景をありありと蘇らせてくれる。



▲①JBL4350 ▲②Re-Entry /Shorty Rogers & His Giants ▲③Jordu /Duke Jordan Trio ▲④Blues-ette /Curtis Fuller Quintet ▲⑤Stepping Out /Diana Krall

2025年4月19日(土)11:00~20:00開催!!
会場:川崎市国際交流センター・ホール

「楽器本来の生音で聴く音楽祭」として地域および関東近県で定着を始めている手作り音楽祭「元住吉ミュージック・フェスティバル」は4月の第3週の19日(土)です。♪♪MMFの出演者の応募選考結果は2月1日(土)からお知らせです。
当日運営のボランティアメイトの受付が開始です。ぜひ一緒に積極的に盛り上げてくれる仲間を募集します。
【楽器演奏が大好き!】、【楽器を生音で聴きたい!】、【イベントをやりたい!】、【司会をやりたい!】
そんな皆さまのお手伝いをよろしく申し上げます。 MMF実行委員会一同
詳細は音友会のHPをご覧ください。

連載22

脱線ニューヨーク滞在記
前号からのつづき 番外編 メキシコシティV 出村 克明

Demura Katsuaki

朝からチャプルテペク公園の中にある動物園へ。このエリア古くはテオティワカンの人々が住みアステカ時代にはこの丘の泉から首都(現メトロポリタン大聖堂がある辺り)まで真水を供給し、スペイン統治後も使用されていました。この広大な森林の樹木は酸素をメキシコ盆地に供給し、アステカ時代から統治者や神官などの静養地とされ、この地は今もメキシコシティの最古かつ最重要な「肺」と云われています。この環境の中でのチャプルテペク動物園へ、無料でした。ゲートを入ると、どこから聞こえてくるのかホエザルの歓迎の声、樹木が多く人もまばらで広々していました。大きな擬岩も(ディズニーランドの擬岩と違い)自然岩と成り、さすがテオティワカンピラミッドの技法が継承されているのかと。シマウマとダチョウは同じ場所で動き回り、広い奥行きが空気のせいかシマウマ模様が映え天然の美でした。話が逸れませんが空想するのはシマウマは何故人と共生しないのか、仮に畑を耕すようになったらあの綺麗な模様様が飛び散った泥で嫌がるのかなとか、競馬(競シマ馬)となるとレースはともかく重なりすぎると縋ってビジュアル的には面白いのでは、カウボーイはゼブラボーイと呼ばれシマウマに乗ってロープをキリンに投げるのですがキリンさん頭を下げてもらわないと無理ですね、ロデオは気が荒いらしいので現実的。ついでにアフリカゾウの綱引き、闘牛ならぬ闘犀、もどうですかね。それに映画チャールトン・ヘストン主演「ベンハー」の最後のシーン戦車レースの感じで馬に代わってキリンに、相当激しいレースになりますね。こうなるとアフリカから踊り上手、太鼓上手、歌い手やコーラスが集まりリオのカーニバルに勝る大盛り上がり、行きたいですね。動画生成AIで(音、踊りは生)の合成で作っても面白い。脱線御免(追記:前述した闘犀編

のシーンを先程TVで最新映画「グランド・ディエーター」のCMで見ました。先を越されました。観たいですね。)

この動物園バンダもいましたが、バンダは今年春、花見がてらに行った上野動物園で初めて見ましたが、ここにはだれも居なく思わずバンダのシンシ(と名づけられていた)に「どないでっか」とひとまず挨拶しました。圧巻だったのはカバさん、居場所は森の中に在るプライベートレイクの様な感じで、いきなり水に落ちるとこちらの方で顔を上げ一回転して大口を開けたのです。思わず唸りました。チャプルテペク動物園☆☆☆☆



▲Club サルサバンド ▲サンルイス Club ▲テキサラとメスカリの専門店のお兄さん 昔にサソリのタトゥー 手にサソリの入ったテキサラ ▲チャプルテペク動物園のカバさん。

バーカッション奏者 コンセプチュアルアーティスト 現代アートでは空気、無を梱包して送る エアメールアートを展開している。 ウエーターがウイスキーボトル、氷、ソーダを運んできてテーブルで手際よく作ってくれました、ある種日本的なサービス、メキシコでもと。演奏が始まりそつなく楽しませてくれました。客も踊り始め、ちらほらとハイヒールでミニの一人での女の子や連れも女の子たちが入り始め客ではないらしく、客に誘われダンスをし、客たちの席で華やいていました。客もダンス上手で女の子たちはそれ以上に上手でした、それ以後どんなビジネスになるのかは分かりません。客がつかなくて席を立つ子もいました出口に向かう彼女の後ろ姿がその日は雨もあって切なく、ホールではスローなボレロが流れ客と女の子が踊っていました。次のステージは同じ編成で違うバンドが入りました、仕事場の共有ですかね。トロンボーンがすこし遅刻してきて、そのせいか張り切って演奏していました。ムーチョ・ブエノ! 次号へ ポヘーバ

連載98

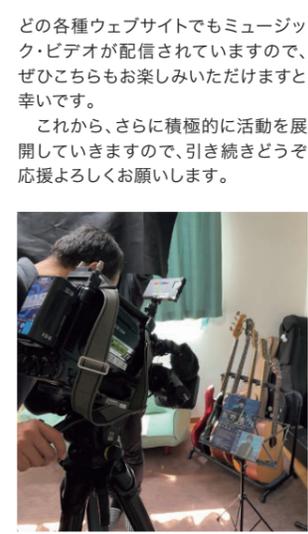
【くら座】日記
デビューから1ヶ月

Makino Kento

シンガーソングライター 牧野 憲人
https://lit.link/makinokento

12.11の全国デビュー(Debut Single「銀河鉄道/三日月の晩」発売元:mars entertainment 販売元:株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ)から1ヶ月ほどが経過し、おかげさまで各所から応援の声をいただくことができています。活動をサポートいただいている関係者の皆さま、御取材いただいたメディア関係者の皆さま、そして何より温かい応援をいただいているファンの皆さま、誠にありがとうございます。デビューシングルCDも手元に届き、現物を眺めていると、こうして1つの形にできあがったことを凄く嬉しく感じます。音楽視聴は、配信が主流の時代になってきましたが、CDという現物は音楽アーティストにとって名刺のようなものであり、1つは形を持っていたいものです。また、19年間の下積み期間でたくさんの方々に

応援をいただいたこともあり、形にして皆さまにお届けできることを何より嬉しく感じています。「銀河鉄道」と「三日月の晩」は、いずれも20代の頃に制作した楽曲で、当時の自分の心境がストレートに含まれています。また、これまで様々なライブ会場で大切に歌って来た楽曲でもあるので、この2曲がデビュー曲になって良かったと思っています。それぞれ表情の違うサウンドを持っていますが、別々の曲と言うよりか、2曲連続でお聴きいただけること、より真髓に近づけるのではないかと思います。決してロマンチックなストーリーを描いたつもりはなく、むしろ後悔の念や切なく揺れ動く心の模様を描いた人間味のある作品となっていますので、情景を思い浮かべながら聴いてみてください。また、CDはもちろん、YouTubeな



連載80

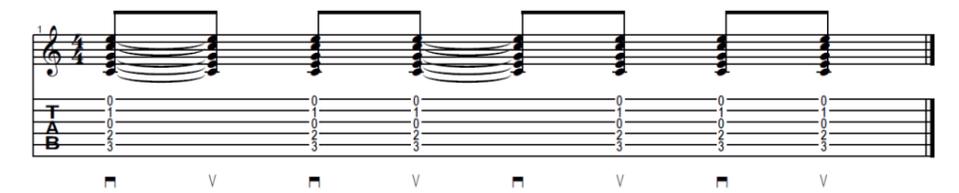
Course: Addicted to Guitar
Cコードを使った伴奏の
ジャンル別パターン 8ビート

Nagase Susumu

ブルースロックピッキング芸人 永瀬 晋

昨年1年大変お世話になりました。今年も引き続きギターを始めたばかりの方への攻略コラムを紹介していきたいと思ひますので引き続きどうぞよろしくお願い致します!早速一発目はテーマを変えて、ギター始めた方が最初に覚えることが多いコード「C」のコードを使って、よく使われる伴奏パターンを紹介していきたいと思ひます。今回のテーマは

「8ビート」です。あらゆるジャンルで使用される伴奏パターンで、テレビなど番組でもかなりの頻度で弾き語りアーティストが使用しているので聞いたことがある方も多いと思ひます。早速譜例です。左手でCのコードを押さえていただき、重要なのは右手の動きですね。ダウンピッキング(門構えのような記号)とアップピッキング(Vの記号)を一定のスピードでキープ



緊急告知!!
ブルースロックピッキング芸人・永瀬 晋さんの「Remember」が大型ビジョンBGMでデビュー!!
音友会を盛り上げている仲間が2024年は大忙しでした。11月の牧野憲人さんの全国デビューに引き続き、元住吉音楽教室・Souleave Music School代表 永瀬晋さんの楽曲が横浜に新しくオープンした「Kアリーナ」大型ビジョンで12月一杯BGMで使用されています。
YouTubeでも公開中
「Remember」 「Guitar Yagabond Ep」 永瀬晋 Susumu Nagase
ウェブサイトもご覧ください。
永瀬晋 official site
http://souleave.com/
souleave music school
http://souleave-music.com/